



国際社会下の教育再建について話した中嶋さん

教育の重要性語る

経営者協会
中信支部
中嶋嶺雄さん講演

長野県経営者協会中信支部（島孝一支部長）のナヒスタで開き、松本市新春例会は二十日、松本

市長で国際社会学者の中嶋嶺雄さんが「国際社会の変動と日本」と題して講演した。
中嶋さんは、教育基本法の改正をめぐる経緯に触れながら教育の重要性を示し「愛国心やアイデ

ンティティーだけ強調される」と問題だが、民主主義と台湾の関係を例に「民主主義とマーケットメカニズムによる市場原理が二十一世紀を動かす」と説いた。国立大学の独立行政法人化にも触れ「本当に規制が多く、文部科学省にも大きく脱皮してほしい」と注文した。

松本・四賀
任意協
松本 意協
任 意

直結道の建設で議論

市長「合併の市民説明会開催」

松本市・四賀村任意合併協議会（会長・有賀市長）の第六回会議は二十日、松本市役所で開き、五項目を協議した。松本

四賀短絡道路建設の財源確保や整備手法に議論が集中。関連する調整方針に、可能な限り具体的な内容を明示する文言を追加することで合意した。有賀市長は、市町村合併についての市民説明会を、年度内に数回設ける意向を明らかにした。

松本四賀短絡道路建設

松本市側委員からは、

道路建設そのものには賛意を示しながら「民意を集約するには、さまざま要件の提示が必要だ」と

として、財源確保などで市民への説明責任を果たすべき、という主張が目立った。
このほか、村議会から異論が出ていた高校生への育英資金支給を、助成措置と切り離し、合併時に同市の現行制度に一本化する調整方針に合意。

経営者をはじめ一般市民ら六十人余りが出席。島支部長はいさつで「相変わらずの経済環境にあるが、発展と基盤づくりの一步を踏み出す元年にしてほしい」と話した。



直結道路建設など47課題の調整方針を確定した第6回松本市・四賀村任意合併協議会

直結道路建設など47課題の調整方針を確定した第6回松本市・四賀村任意合併協議会
任意協の次回会議は二月八日に開かれる。議論が順調に推移すれば、県

案を提出し、財政改革に対する田中知事と議会側の論戦が注目される。また、四月の統一地方選前の最後の県議会となる。

2月県会 来月20日に招集

県は二十日、県議会二月定例会を二月二十日に招集すると発表した。財政改革推進プログラム案を踏まえた総額一兆円に